

令和8年熊本地震 くらし再建・復興に向けた意見交換会(富合)

日時	令和8年8月26日(水) 18時00分 ~ 20時00分
場所	富合町健康づくり総合センター(雁回館) トレーニングルーム
参加者	16名

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
1	南区 (富合)	熊本市は広いので、区ごとに防災行政無線を設けてほしい。南区専用無線を作ってほしい。以前、川の氾濫の情報で北区東区の情報が出てきた。今後は区別の無線が必要である。	住んでいる地域ごとの情報発信や伝達手段の改善を検討する。
2	南区 (富合)	家が半壊で公費解体を行う。自宅敷地内のプレハブ設置は要件が合えば可能と聞いたが、自宅近くの所有地へのプレハブ設置を認めてほしい。	近接の別敷地での適用は現行基準では難しい可能性があるが、国の制度を確認し、対応可能か検討する。
3	南区 (富合)	地域公民館が被災。建替え・修繕への補助を拡充してほしい。市から補助金があるとしても、半分以上は地域が支出することになる。地域コミュニティ維持の観点から不可欠である。	地域コミュニティ維持の観点から地域公民館についても支援拡充を国にも要望する。
4	南区 (富合)	液状化対策事業を進めてほしい。地盤沈下や資産価値低下に不安がある。	国の支援を受けるには地元合意が不可欠。工法等については専門家の方の意見も聞きながら進める。補助制度も検討する。
5	南区 (富合)	夏休み中の子どもの居場所が不足し、保護者の負担が大きい。	富合・城南地区の4カ所でコミュニティセンターを使って、子どもの居場所事業を実施中。周知方法も改善する。
6	南区 (富合)	先ほどの子ども向けイベントに関して、参加者が少なく周知ができていないようである。保護者への「すぐーる」の配信は周知方法として適していない。毎日通知がきて見なくなる。検討してほしい。	情報発信を行ったというだけでなく、情報が届いたかを重視し、複数の周知方法を検討する。
7	南区 (富合)	農業者に限らず倉庫の公費解体を対象にしてほしい。	倉庫は公費解体の対象である。ぜひ相談してほしい。
8	南区 (富合)	緊急修理制度を一部損壊住宅にも適用してほしい。	準半壊以上に相当する程度の被害という基準となっており、必ずしも罹災証明が必要ではないため、写真をもってご相談いただきたい。
9	南区 (富合)	ポンプ場に向かって河川が走っているが、間知石を本積みしてほしいとお願いしているが、まだ空積みになっている。両岸に1kmと続いているため、本積みしてほしい。	現地確認を行い、中長期対策を県・国と連携して対応を検討する。
10	南区 (富合)	潤川・浜戸川の堤防沈下も懸念されるため排水場などの洪水対策を進めてほしい。	河川の安全性を確認し、必要な対策を検討する。
11	南区 (富合)	被災高齢者の片付け支援のためボランティア活用を強化してほしい。斡旋だけでなく積極的にボランティアを募集して、適したところに配置してほしい。	ボランティアセンターとの連携を強化し支援を進める。頼むことを遠慮する方が多いので積極利用を呼びかけたい。

番号	意見 交換会	ご意見	当日の回答内容
12	南区 (富合)	地震時にコミュニティセンターを校区の方を対象に無料開放などできたらと思った。そのための減免の補助などを検討してほしい。	地域コミュニティの活性化を図るため、コミュニティセンターの利用促進に向けた使用料減免(無料開放)制度を検討する。
13	南区 (富合)	保育園は就業中に地震があったため、子どもたちが泣き叫んだりバタバタで、どの段階で外にでるか、外に出たら熱中症の懸念があるなど保育士の方は考えられることが多かったと聞いた。お母さんが迎えに来たのは22時過ぎだった。	今回現場で対応された方の声を聞き、さらに対応できるよう検討していく。
14	南区 (富合)	高齢者には罹災証明などの制度説明が分かりにくい。早口で話されると、聞き取れないことがあり、高齢者の方は分かっているなくても分かったと言ってしまうこともあるため、ゆっくり分かるように優しく話してほしい。	分かりやすい説明と丁寧な相談対応を徹底する。
15	南区 (富合)	災害時、地域公民館を避難所として使わせてほしい。	地域によって避難所の在り方や、公民館が使える状況かなどによるため、次の災害があった時のため考えていきたい。
16	南区 (富合)	富合校区はハザードマップで見ると赤い地域で新築時のかさ上げの必要性について不動産事業者の方から質問があった。災害後に再度かさ上げを求められる懸念がある。市の見解を問う。	国法令改定により浸水想定区域の新築は基準が設けられている。新築時は2階避難誘導などの指導を行う。今年、浸水リスクのある地域の調査やアンケートを実施し、どのような支援を行っていくか検討中である。
17	南区 (富合)	潤川は右岸が低くなっている。改修工事規制会でお伝えして、熊本県の担当にお伝えし、調査を民間に依頼したが、回答がまだない。	県の調査結果について、県は災害対応で忙しいと思うが、リスクもあると思うので、県と一緒に協議していく。
18	南区 (富合)	応急修理制度の仕組みが住民や業者に周知されていない。制度を知らず、すでに業者へ修理費を払ってしまった人が制度を活用できるようにしてほしい。市政だよりに載っていたが、小さく表示されていた。	周知方法を改善し制度利用を促進する。 支援拡充を国にも要望する。
19	南区 (富合)	農業倉庫や離れについても、公費解体の対象との回答があったが、三反以上作っている農家じゃないとり災証明が発行できないと聞いた。	農業を営農している人という基準で、営農しているとは、三反以上か販売額が50万円以上ということで、農機具格納庫や農機具が壊れた場合などを農水局でり災証明を発行している。 ただし、基準について法律で決まっていない場合は、基準に達していなくても対応できるよう検討する。
20	南区 (富合)	消防団をしていて断水の支援で水を運搬するため積載車の使用を願い出たが、消防局からの要請がないためできないと断られた。自主支援しようとしても連携不足で動きにくい。	災害時の情報共有と関係機関の連携強化を図り、事例等も把握したうえで柔軟な対応ができるよう検討する。